


野村地区

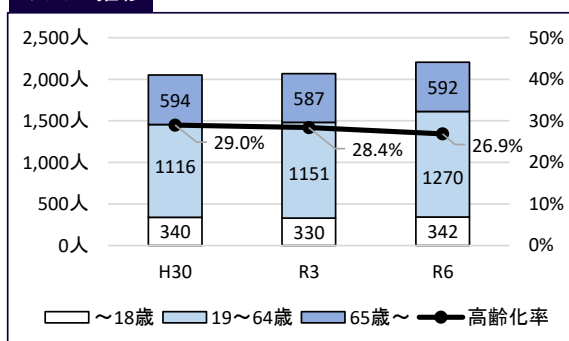
◆概要

	【位置図】	まち協名	野村地区まちづくり協議会		
		所在地	亀山市野村3丁目10-9	電話	0595-82-1449
		地区構成	野村 南野町 北野町		
		地域特性	亀山市中央部に位置し、南に鈴鹿川、北に椋川、東に竜川と豊かな自然に囲まれ、市街地は鈴鹿川の強固な河岸段丘の上であり、自然災害の少ない地域となっています。JR亀山駅が近く、国道1号線、西町関線、和賀白川線が走っており、交通アクセスも良好です。国史跡野村一里塚、内宮の遷幸地と言われている忍山神社では、毎年10月の例祭で、市無形文化財の傘鉾が町内巡行されています。近年、若い世帯が増加し、15歳以下の児童数が300人近くになっており、世代交代が進んでいます。		
面積	291.8ha				
めざす姿	地域に誇りと魅力を感じるまち				
地域の誇り	歴史文化に出会え、川と緑に囲まれた豊かな環境下で展開されている住民主導の地域活動				

◆人口

	平成30年	令和3年	令和6年	増減	
総人口	2,050人	2,068人	2,204人	18人	
人口密度	7.03人/ha	7.09人/ha	7.55人/ha	0.06人/ha	
65歳以上	人口	594人	587人	592人	-7人
	比率	29.0%	28.4%	26.9%	-0.6%
18歳以下	人口	340人	330人	342人	-10人
	比率	16.6%	16.0%	15.5%	-0.6%
外国籍	人口	147人	166人		19人
	比率	7.2%	8.0%		0.9%

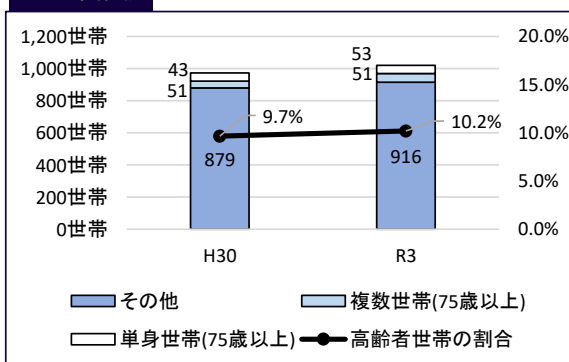
◆人口推移



◆世帯

	平成30年	令和3年	令和6年	増減
総世帯	973世帯	1,020世帯		47世帯
単身世帯(75歳以上)	51世帯	51世帯		0世帯
複数世帯(75歳以上)	43世帯	53世帯		10世帯
高齢者世帯割合	9.7%	10.2%		0.5%

◆世帯推移



◆介護保険認定者

	平成30年	令和3年	増減
要支援1.2	41人	54人	13人
要介護1～5	92人	78人	-14人
合計	133人	132人	-1人

◆地域組織

	平成30年	令和3年	増減
自治会	12	12	0
老人クラブ	2	3	1
子ども会	3	3	0

◆福祉・医療・教育等に関する社会資源

民生委員・児童委員	3
福祉委員	30
介護保険施設・事業所	2
サービス付き高齢者向け住宅・有料老人ホーム	0
障がい福祉施設・事業所	0
児童福祉施設・事業所	0
病院・診療所	3
歯科	0
保育所	1
幼稚園	0
認定こども園	0
放課後児童クラブ	0
放課後子ども教室	0
子育て支援センター	0
学校(小・中・高)	0
乗り合いタクシー停留所	23

◆サロン活動

	平成30年	令和3年	増減
ふれあいいきいきサロン	4	2	-2
子育てサロン	1	1	0
コミュニティサロン	0	1	1

◆福祉委員会活動

◆構成員 まち協役員 民生委員・児童委員 福祉委員

◆活動内容

【交流活動】
三世代交流事業としてもちつき大会を行い、子どもから高齢者のふれあい活動を行っています。

【訪問活動】
一人暮らし高齢者宅の訪問活動を行い、困りごとの聞き取りを行っています。

【その他】
毎月のふれあいいきいきサロン、子育てサロンの協力をしています。



ホテル観賞

びよびよサロン
(子育てサロン)



◆まちづくり協議会の恒例事業

- ・ホテル観賞
- ・グラウンドゴルフ大会
- ・ラジオ体操
- ・盆踊り大会
- ・敬老祝い
- ・運動会
- ・菊花展・文化祭
- ・農芸祭・イルミネーション
- ・健康教室
- ・いきいきサロン
- ・びよびよサロン

◆社会福祉協議会 生活支援コーディネーターからのコメント

野村地区の人口は2,068人で、そのうち28.4%にあたる587人が65歳以上です。地域内1,020世帯のうち、10.2%にあたる104世帯が75歳以上のみで構成されています。また、地域内人口の8.0%にあたる166人が外国籍です。

地域の特色として、買い物や病院にはアクセスしやすい環境が整っており、近隣での買い物や病院などの利用が比較的しやすい状況です。また、地区内では、三世代交流やサロン、子どもの見守り活動として児童防犯パトロール(青パト)や登下校時の見守りなど、まちづくり協議会を軸とした地域活動が活発に行われています。新型コロナウイルス感染症の影響で、明るい話題のない中、憂鬱な気持ちを和らげてくれるようなイベントをと「真冬のきらめき2021in野村」を企画し、コロナ禍でもつながりを絶やさないよう行事も工夫して取り組まれました。今後は、若い世代と昔からの世代が交流できる機会等を、互いが協力しながら作っていくことが期待されます。